

3年生 松田桃子さん 農業クラブ近畿大会出場

第58回近畿学校農業クラブ連盟大会が8月10・11日、堺市立勤労者総合福祉センター（サンスクエア堺）で開催され、本校3年生松田桃子さんが大阪府代表として、「大阪のてっぺんを世界に発信！！」をテーマに意見発表「環境」の部に出場しました。

この大会では、意見発表「食料・生産」「環境」「文化・生活」、プロジェクト発表「食料・生産」「環境」「文化・生活」の6部門において、近畿各府県の代表者が発表を行い、それぞれの部門で、最優秀に輝いた者のみが10月6・7日に北海道の札幌市等で開催される第61回日本学校農業クラブ全国大会への切符を手にすることができます。

全国大会は、まさに農業高校生にとっての“甲子園大会”で、日ごろの研究活動の成果を発揮する最高の舞台です。そのためのステップとなる近畿大会は毎年、農業高校生たちの汗がほとばしり、緊張感あふれる大会です。

さて、松田さんの出場する「環境」の部の会場は研修室2となりました。会場の雰囲気慣れるため、午前中にリハーサルを行い、13:30からの本番を迎えるまでロビーで練習を繰り返しました。いよいよ2番目に松田さんの発表となりました。最初、顔の表情から幾分緊張感が見られましたが、暗記してきた原稿を聴衆に正確に力強く伝えることができ、練習で培ってきた成果を十分発揮できていました。特に能勢の自然の素晴らしさを広く伝えていく自信と自覚を素直に表現でき、誰もが好感をもてるパフォーマンスでした。

結果として、最優秀を獲得することができませんでしたが、自分の考えを多くの人に伝えられたこと、発表を通じ、自分の将来についてあらためて考えることができ、大きな財産になったと思います。今後の一層の活躍を期待します。お疲れ様でした。



開会式の様子



発表中の松田さん